

笑心の郷 だより

令和3年1月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどリーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します



12月23・24日にクリスマス会を行いました。コロナで始まり、コロナで終わる今年最後の行事です。少しでも楽しんで頂けるように、クリスマスクイズ・職員オリジナル笠地蔵の寸劇・サンタクロースとトナカイからのクリスマスプレゼントを企画しました。クイズはご自分の子供さんやお孫さんと過ごされた時を思

い出されながら「どうだったかなあ」とそれぞれに答えが聞こえてきました。

笠地蔵の寸劇では、利用者の皆さんにもお地蔵様になっていただきました。サンタクロースとトナカイに扮した職員が鈴の音と共に登場する際

には、手をたたき笑顔で迎えてくださり、職員もやりがいがありました。

小さなことでも幸せで楽しいと感じる気持ちを大切にと思える瞬間でした。今年一年、変わりなく行事が行え、利用者の皆さんに参加して頂いたことに感謝します。ありがとうございました。



あけまして
おめでとう
おめでとう

ンタが仲良く利用者の皆さんにプレゼントをお渡しし帰っていきましました。

はーとでは十二月十二・二十三日の二日間、クリスマス会を行いました。クリスマスツリーを点灯し、雰囲気演出。始めにクリスマスの歌を数曲歌い、次に色々な大きさの輪の中にお手玉を入れるゲームに挑戦しました。輪の中にはサンタやトナカイなどの絵と点数が書かれています。利用者の皆さん、勝負事になると真剣そのもので、点数の高い輪にお手玉が入ると大歓声！でも力加減が強かったり弱かったりすると、もう少しのところに入らなかつたりと一喜一憂、盛り上がりましました。その後、職員手作りのケーキを召し上がって頂きました。そしていよいよお待ちかねのサンタの登場となりましたが、なぜか二人のサンタが…。「本物のサンタはわたしだ！」とコントの始まりです。皆さんの笑い声に包まれ、最後は二人のサンタが仲良く利用者の皆さんにプレゼントをお渡しし帰っていきましました。

はーと



十二月十一・十七日にクリスマス会を開催しました。職員が聖歌隊の装いで登場。「きよしこの夜」「赤鼻のトナカイ」を合唱して始めました。次に職員によるハーモニカ・木琴・タンバリン・鈴・キーボードでの楽器演奏を行いました。練習では揃ってできなかったのが職員はとても緊張し、利用者の皆さんは「なんの歌だろうか？」と考えながら初めは聞いておられました。途中から一緒に口ずさみ、だんだん曲に乗って楽しそうに歌われていました。おやつタイムは、クリスマスケーキです。裏ごししたさつま芋とホイップクリームを自分達でツリーのよう飾りました。クリームが横にすれたり手に付いたり、なかなか簡単ではありません。隣の人のを見て「きれいに出来てるなあ。」と話しながらみんなで食べました。次に職員によるサンタクロースから手作りのツリー、マグネット等のプレゼントをもらって嬉しそうでした。最後に「鶴の恩返し」の紙芝居やふれあいダンスを一緒に踊って楽しいひと時を過ごしました。今年も利用者の皆さんの笑顔を大切に、職員一同頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



早いもので、いよいよ今年もあと数日となりましたが、この一年新型コロナウイルス感染症に関するニュースが毎日のように流れ、異例なくめとなった二〇二〇年、今までの生活様式も大きく変わったことと思います。ご家族に会うことが出来ない、地域の人の関わりが薄れるなど、色々不安に思われている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。コロナウイルスを変えることは出来ませんが、その都度臨機応変に状況に対応し、皆さんにとっては一とが、ほっこりできる憩いの場になればと思います。「二〇二二年健康で楽しみのある一年になります様に」職員一同願っています。

どリーむ

今月のお食事

今回は年越しそば、かき揚げ、野菜の卵とじ、大根サラダです。

年越しそばは、江戸時代中期には定着していました。細く長い麺の姿から「長寿を願う」また一方では切れやすいため「一年の厄を断ち切る」など諸説あります。

